

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社椿本チエイン（証券コード:6371）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A
発行登録債予備格付	A
国内CP格付	J-1

### ■格付事由

- チェーンを主力とする機械メーカー。チェーン事業の産業用スチールチェーンや自動車部品事業のタイミングチェーンドライブシステムでは世界トップクラスのシェアを有する。また、マテハン事業や精機事業も手掛ける。20/3期売上構成比はチェーン事業29%、精機事業10%、自動車部品事業31%、マテハン事業29%、その他事業1%である。
- 米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、業績は19/3期をピークに大きく悪化している。特にこれまで業績を牽引してきた自動車部品事業の収益力が低下している。主要ユーザーである自動車メーカーなどの生産活動は回復しつつあり、現段階では21/3期が業績のボトムと見ている。ただ同感染症は収束しておらず、当面は業績動向を注視していく必要がある。一方、財務構成は引き続き良好である。今後も健全な財務内容を維持可能と見られる。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 21/3期営業利益は66億円（前期比59.1%減）の見通し。ピークであった19/3期217億円から2期連続減益となる見込みである。外部環境の悪化を受け、マテハン事業以外の営業利益が悪化。とりわけ主力であるチェーン事業と自動車部品事業の売上減少が大きく影響すると見られる。足元では自動車生産台数が回復しつつあるとはいえ、本格的な回復といえる状況には至っていない。引き続き各事業の業績動向を注視していくが、特に近年採算性が低下している自動車部品事業には留意が必要である。
- 21/3期第1四半期末自己資本比率は59.6%（前期末59.3%）であるなど、財務諸比率は良好な水準を維持している。設備投資は18/3期をピークに減少傾向にあり、21/3期は更に厳選された投資となる計画である。このため、当面もフリーキャッシュフローは黒字を確保できる見込みであり、現状の健全な財務構成が損なわれる懸念は小さい。

（担当）里川 武・外窪 祐作

### ■格付対象

発行体：株式会社椿本チエイン

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年12月20日	2025年12月19日	0.300%	A
第11回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年12月20日	2028年12月20日	0.520%	A

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	200億円	2019年10月31日から2年間	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年9月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「機械」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社椿本チエン
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル